

# 大和鉄道

大正7年(1918)4月26日 開通

奈良・王寺・高田・桜井をめぐる鉄道が明治40年国有化される。中和地域の中心の田原本は鉄道から取り残される危機感を持ち鉄道施設運動をはじめ、15年めで王寺―田原本間で許可され、大正7年4月、機関車で新王寺―田原本間の6駅で開通。その後、田原本―味間(大正11年)、味間―桜井町(大正12年)開通。昭和3年国鉄桜井駅まで乗り入れする。一方、大阪軌道(大軌)が県下に勢力を伸ばし、大正12年畝傍線開通し、大正14年大和鉄道を大軌が買い取り、昭和4年八木から桜井まで開通した。太平洋戦争が始まり、田原本―桜井間を不要とみなし昭和19年1月廃線。王寺―田原本間は近鉄田原本線として残っている。

大正7年開通

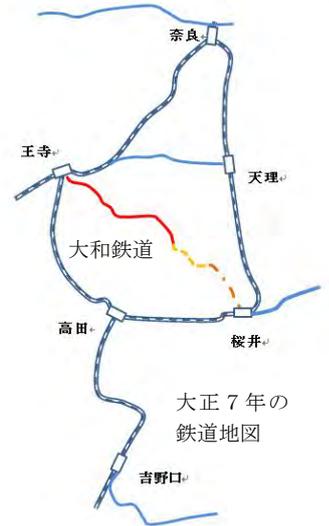
**新王寺** ---大輪田---池部---箸尾---(但馬)---黒田---**田原本**

大正12年開通(田原本・味間は大正11年開通)

**田原本** --- (寺川) ---味間---大泉---東新堂---桜井町---**桜井**

但馬、寺川駅大正7年増設 桜井は昭和3年開設(桜井町廃止)

【軌道幅】106.7cm(昭和23年新王寺・田原本間143.5cm) 【距離】17.2km



大正7年4月26日

新王寺・田原本間運輸営業開始  
(10.1km)

大正11年9月3日

田原本・味間間を運転実施(2.6km)

大正12年5月2日

味間・桜井町間開通(4.5km)

大正14年4月

大軌の傘下になる

昭和3年5月1日

国鉄桜井駅乗り入れ(桜井町駅廃止)  
大福を東新堂に変更

昭和7年

但馬、寺川駅を増設

昭和19年1月10日

桜井・田原本間営業停止  
(昭和33年12月27日正式に廃止)

昭和23年6月15日

新王寺・田原本間電化完成  
軌道幅106.7cm→143.5cm

昭和36年10月1日

信貴生駒電鉄と合併

昭和39年10月1日

近鉄と合併し新王寺・田原本間は近鉄田原本線  
となり現存。この時西田原本駅に改称された。



## 大和鉄道開業

田原本—新王寺開通

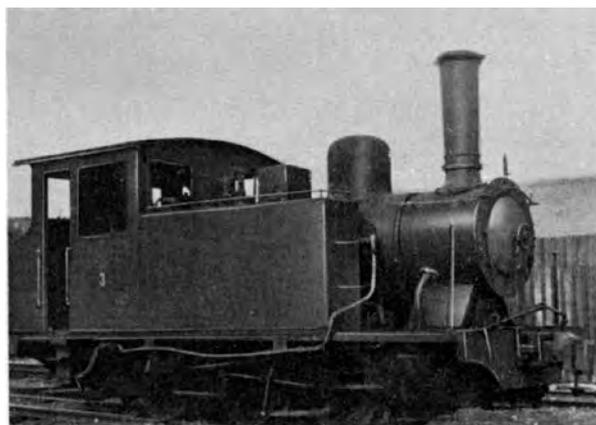
大正7年4月26日



大和鉄道開業当日の田原本駅 写真①



2号機関車 大正6年～昭和12年 写真②



3号機関車 大正8年～ 写真③

## 大正11年 田原本・味間開通



大和鉄道 汽車  
三和ゴム（千代交差点西）の南で撮影  
写真④



大和鉄道 汽車  
味間駅から田原本駅に向かう道中  
写真⑤

## 桜井へ路線延長

大正 12 年 味間・桜井町開通  
昭和 3 年 国鉄桜井駅乗り入れ



寺川橋梁を走る大和鉄道  
(大正 12 年ごろ) 写真⑦



### 田原本跨線橋工事完成

(畝傍線(現)橿原線) 大正 12 年 3 月  
畝傍線の開業が大和鉄道より 1 年遅れたの  
で畝傍線が高架でクロス。

写真⑨



### 大泉駅開通祝賀会風景

大正 12 年 5 月味間—桜井町の開通にとも  
ない開設。 写真⑥



### 大和鉄道桜井町駅

大正 12 年味間—桜井町開通した。  
昭和 3 年桜井町—桜井間の営業開始。(桜井町駅  
はこのとき無くなった) 写真⑧

## 気動車時代（ガソリンカー）

今までの蒸気機関に替り、昭和3年7月から気動車を試用。運転経費を削減し、逐次気動車へ切り替わっていった



田原本駅を出る桜井行「レールカー」  
レカ12（昭和7年の増備車） 写真⑩

## 田原本—桜井間営業停止。

昭和19年1月営業停止 昭和33年廃線。

## 新王寺—田原本間は近鉄田原本線として現存。

昭和39年 西田原本駅に改称



西田原本駅構内の軌間拡幅工事(大和鉄道・電化)  
昭和23.6.15 写真⑪



田原本駅時代（現西田原本駅） 写真⑫



## 県道 田原本・大三輪線

昭和19年桜井・田原本間営業停止。  
その後線路は撤去され、道路となる。写真⑬



旧田原本駅駅員詰所 写真⑭